

「9.11」から10年 「3.11」から半年...

9.11

イラクと フクシマ・泊をつなぐ 集会 & ピースウォーク



★ 集会 10:00~11:30

クリスチャンセンター・ホール (北区北7西6)

講演：佐藤 真紀さん (日本イラク医療支援ネットワーク事務局長)

★ ピースウォーク 11:30~

2001年9月11日の「同時多発テロ」をきっかけに、米国など「北」の大国が大手を振って軍事介入するようになりました。イラクでは「ウラン兵器」が使われ、多くの人たちが犠牲になっています。そして、2011年3月11日フクシマの原発巨事故は、福島県はもとより日本社会全体に破局的な影響を与えています。

私たちがくらす北海道には、「泊」があります。フクシマ後、世界で初めて運転再開をした原発があります。

いま、イラクのことを考え、フクシマのことを考え、泊を止めて、すべての核をなくすために動く時です。一緒に動きましょう。

● 参加費 500円

連絡先 080・1898・7037

主催：ほっかいどうピースネット 北海道平和運動フォーラム 安保破棄北海道実行委員会

イラクの、フクシマの、北海道の子ともたちの未来のために



アル・ワリード難民キャンプ

イラクでは、劣化ウラン弾による内部被曝で子どもたちに白血病やガンが多く発症しています。その子たちを救いたいと NGO 日本イラク医療支援ネットワークは、院内学級や難民の子どもの健康診断と地道に活動を続けています。

東日本大震災の直後、すぐに南相馬に医療団を派遣したり、お風呂をはじめたり、健康診断をしたりとそのノウハウを生かした活動はめざましいものがありました。

今、福島の子どもたちを被曝から守りたいとサマーキャンプや放射能の除染活動を展開しています。イラクとフクシマの子どもたちを見つめて活動の中心を担っている事務局長の佐藤さんのお話の会をします。

日時：2011年9月12日(月)

18:30~20:30 (開場 18:00)

会場：札幌エルプラザ2F 環境研修室1・2

(札幌市北区8条西3丁目 札幌駅直結)

講師：佐藤真紀さん

日本イラク医療支援ネットワーク (通称JIM-NET)

参加費：500円

共催：イラクチョコ募金の会 (080-1898-7037)

セイブイラクチルドレン札幌



Saboon Hat

*佐藤真紀 (サトウマキ)

奈良県生まれ 早稲田大学理工学部卒業。青年海外協力隊、国連ボランティアなどを経て、JVC パレスチナ事務所代表。2002年からイラクにかかわり、イラク戦争では、緊急救援を指揮。2004年にイラク医療支援ネットワークを立ち上げた。長きにわたる中東での活動には定評があるが、学会発表から子ども向け絵本や、ワークショップと幅広い活動を行っている。*著書「戦火の爪あとに生きる」他多数。



*イラク戦争と東日本大震災 人道支援の現場から*写真パネル展

* 9月11日(日)~14日(水)

* 札幌エルプラザ4F フリースペース

* 撮影：佐藤真紀

最新作「希望~いのちのメッセージ」(鎌田 實/JIM-NET 代表と共著) より



イラクの子供たちを救いたい 日本イラク医療支援ネットワーク